

# 地下掘削工事届

平成15年 4月 1日

(あて先) 札幌市長

届出者 住所 000-0001  
 中央区北〇条西×丁目1-2  
 氏名 株式会社 〇×建設  
 代表取締役社長 札幌太郎  
 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 123-4567

札幌市生活環境の確保に関する条例第118条第1項の規定により、地下掘削工事について、次のとおり届け出ます。

地下掘削工事の場所	中央区北△条西◇丁目3-4	* 1
掘削する面積及び掘削する深さ並びに掘削する土の体積	面積: 2,500 m <sup>2</sup> 、深さ: 16.5 m 土の体積: m <sup>3</sup>	* 2
地下掘削工事の方法	開削工法 地下水位を下げするためディープウェル工法によって水替えを行う	* 3
地下掘削工事の概要 (工事名、工事の目的、工期等)	工事名: 〇×ビル新築工事 目的: 地下2階の当ビル新築のためGLより-16.5m掘削するもの。 工期: 平成15年5月11日から平成15年8月31日	* 4
工事場所の周辺の地盤の標高及び地下水位	標高: 21.000 m、地下水位: 10.800 m	* 5
予想されるゆう出水の量及びその処理方法	ゆう出水量: 17,300 m <sup>3</sup> /日 処理方法: 濁水処理機で処理後、還元井にて還元。オーバーフロー分は河川(〇×川)に放流。	* 6
工事場所の周辺の地盤及び地下水位への影響を低減するための方法	ゆう出水は還元井にて還元する。	* 7
現場責任者の氏名及び連絡場所	株式会社〇×建設工務課 北海 次郎 中央区北△条◇丁目3-4 〇×ビル新築工事現場事務所 電話番号 987-6543	* 8
* 整理番号		※受理年月日 年 月 日
* 備考		

注1 掘削する土の体積は、札幌市生活環境の確保に関する条例施行規則第62条第2項に該当する場合に記入してください。  
 2 工事場所の周辺の地下水位及び地盤の標高は、小数点第3位まで記入してください。  
 3 \*の欄には記入しないでください。  
 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

地下掘削工事届の記載事項と記載例  
(等式26、条例118条)

- \* 1 地下掘削工事の場所  
地下掘削工事を行う場所を区名から枝番まで記入してください。
- \* 2 掘削する面積及び掘削する深さ並びに掘削する土の体積  
掘削する面積と掘削する深さを記入してください。  
土の体積は地中を掘削する工事を施工するときに記入してください。開削工事の場合は、面積と深さだけで結構です。
- \* 3 地下掘削工事の方法  
掘削工事の工法を記入してください。
- \* 4 地下掘削工事の概要（工事名、工事の目的、工期等）  
工事の名称、工事の目的（なぜ地下掘削工事を行うのか）、工期を記入してください。  
工期は、地下掘削工事を行い埋め戻すまでの期間、または工事に伴う地下水のゆう出がある期間を記入してください。
- \* 5 工事場所の周辺の地盤の標高及び地下水位  
工事開始前の工事場所の周辺の地盤の標高及び地下水位を記入してください。地下水位は海拔標高で表してください。  
また、測定地点を図面に明示してください。
- \* 6 予想されるゆう出水の量及びその処理方法  
予想されるゆう出水の量とその処理方法を記入してください。なお、条例の規定はありませんが、ゆう出水を公共水域へ放流する場合は、別途放流水質についての協議が必要となります。
- \* 7 工事場所の周辺の地盤及び地下水位への影響を低減するための方法  
工事による地盤及び地下水位への影響を低減するための方法を記入してください。  
(地下水に影響の少ない工法（止水工法、復水工法等）の採用など。)
- \* 8 現場責任者の氏名及び連絡場所  
工事中に連絡の取れる現場責任者の氏名と連絡先を記入してください。

また、届出には次の図面・書類を添付してください。

- ・ 地下掘削工事の場所を示す図面
- ・ 掘削平面図及び掘削断面図
- ・ ゆう出水の処理の系統を示す図面